

ここが聞きたい ずばり村政を問う！

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会にて校正し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧が出来ます。



橋本 功議員

Q

東海大農学部存続は

A

県と連携し最大限の努力をする

橋本議員
東海大学農学部の再

建について村は存続を切望しており、阿蘇キャンパスを存続へ目指す方策はあるのか。

大学と村は地域交流協定を結んで、南阿蘇村ブランドづくりを指し、発展に貢献していた。昨年の震災から中止に追い込まれているので再開をお願いしたい。

学生と黒川地区住民との暮らしは40年以上にわたり、相互依存で発展してきた。農学部を卒業した学生は7000名以上に達する。

過去を忘れないためにも発展過程のデータを作成し復興に役立てることが出来ないか。

村長

農学部存続は黒川地区の集落再生、南阿蘇村の再建復興において

重要な位置づけと認識している。全面再開を目指しており、存続のためには村として出来ることは協力を惜しまず農学部の支援を考えている。また、熊本県と連携して最大限の努力をしていく。

地域交流協定は昨年震災によって活動休止を余儀なくされたが、再開に向けて取り組んでいく。

昭和55年に農学部が開設されて、地域の活性化にも貢献している。大学と村の発展過程のデータ利用については、東海大学と村との歴史を振り返ることは有益であると考え対応を検討していきたい。

Q

県道河陰阿蘇線の整備及び上水道復旧は

A

安心安全なライフラインの確保に努める

橋本議員
①県道河陰阿蘇線は濁川箇所など復旧工事が一部着工しているが、他にも地割れ、段差、凹凸など劣悪な箇所がある。復旧計画は。

②上水道の供給体制について、長陽南部地区、立野地区は安定供給に至っていない中、立野

断水8月解消の進め方は。また、水道施設の耐震化計画は。

村長

①村道栃木立野線は夏の終わり頃に開通見込みで村の復興に弾みがつく。開通に伴い県道河陰阿蘇線の通行量の増加を心配している。

②立野簡易水道の断水対策は東京エレクトロンの協力のよって十分



早期復旧が望まれる河陰阿蘇線